

令和元年度

盛岡医療福祉専門学校

自己点検・評価委員会結果報告書

令和2年3月

## 令和元年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡医療福祉専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和2年3月30日

学校法人 龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

自己点検・自己評価実施日 2020年3月31日(火)

1. 学校の教育目標

- 1 専門分野の知識と技術を正確に習得する
- 2 社会人としてのマナーを体得・実践する
- 3 生命に対する尊厳を養い、真の優しさを身につける

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1 多職種連携授業の本格的実施
  
- 2 退学者(率)の防止と減少について、継続して取り組む。退学率3%以下を目標とする。
  
- 3 卒業生を対象としたセミナー、意見交換会の全学科実施に向けて継続して取り組む。
  
- 4 業界の経営者団体、職能団体等との連携をより深め、学校全体が社会資源の一機関として地域の医療・福祉に寄与する。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

#### (1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け て方向づけられているか	4
課題	学校の理念、人材育成像について、目標の教室への掲示、それに基づいた学生個々人の 目標設定などを通じて周知、徹底が行われている。保護者に対しても、保護者ガイ ダンス、就職セミナー等を通じ、それらを継続して伝えている。また、本年度はカリ キュラムポリシーを作成し、さらに教育カリキュラムの向上を図った。	
改善策	CP・DPの入学時における学生・家族への説明し、学生自身による単年度個人目標作成 などを通じ、社会における本校教育分野専門職の役割を理解させ、学生の学習意義や 資格取得意欲の向上につなげる。	

#### (2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に 機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2
課題	事業計画に基づく適切な学校運営を行っている。一方、教育の質の見える化、及び、 業務効率化については課題を残している。	
改善策	AP, DP, CP及びシラバス、時間割等をHP等で公開することで教育カリキュラムの可視化 を行っていく。また、グループ全体で情報システムの効率化を推し進めていく。	

### (3)教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	学生評価、ルーブリック評価を活用し、より質の高い教育活動に学校全体として継続して取り組んでいる。一方、非常勤講師担当科目も含め主体的に学ぶ授業の確立へ向け継続して取り組んでいく必要がある。	
改善策	新年度より、学生からの授業評価を目的として、全科目・全時間でリアクションペーパーを実施し、教授方法のさらなる向上を目指す。	

#### (4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	<p>これまでと同様、高い就職内定率を達成した。また、スクールカウンセラーの人員を増やし、毎週相談室を実施、また、昨年度同様カウンセラーによる授業、講演を取り入れ、退学及び早期退職を防ぐ試みを継続して行ったが、進路変更・経済的事情・健康状況等、理由は様々であるが、退学者を減らせなかったことは真摯に受け止めなければならない。卒後教育などで卒業生の卒業後の動向を把握するように努めているが、正確な動向をつかむための一層の工夫が継続して必要である。資格取得に関しては、本校の魅力の一つとして打ち出していくべく、更に高い取得・合格率を目指すことが必要である。卒業生の状況把握は継続して行なっているが、応答がないものも多く、全てを把握するのが困難な状況である。</p>	
改善策	<p>退学者防止については、退学リスクの早期発見と教職員間・家族との連携、組織対応を徹底し、学生が抱える様々な学習継続への不安をいち早く掴み対応できるよう、取り組みを強化する。就職支援については、就職率はもとより企業との人材マッチングを高めるために、求められる人材等、企業との情報交換を行う。卒業生フォローについては、卒業生にキャリア形成に必要なスキル等意見を聞きながら、継続した学びと交流の機会を持つ。</p>	

#### (5) 学生支援

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	<p>経済的支援体制については、引き続きグループ全体での経済支援を加え充実させている。保護者との連携については、保護者が参加できる企画を増やし、学校へ対する理解を深める機会を継続して提供した。通信教育部へは、変わらず卒業生の受講があり、卒後教育の一環として機能している。カウンセリングの体制も一層充実させ、日常的な悩み事や就職に対する不安を払しょくする仕組みがよりしっかりしたものとなっている。</p> <p>一方、卒業生へのフォローアップの充実、及び相談室の利用者が固定されがちである、といった課題も依然として残っている。</p>	
改善策	<p>次年度より、高等教育無償化認定校として一層充実した経済支援を展開できる予定。相談室利用の周知をさらに徹底する。また、卒業生への支援体制の充実、および、保護者との連携について、継続して充実させていく。通信教育部の事業エリアと募集定員を拡大、国家試験対策講座の一般への開放などを進め、幅広い地域人材の学び直しの場を提供する。</p>	

## (6) 教育環境

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
課題	設置基準に従った十分な整備を行っている。また、教員が各自タブレットを所有し、ICTを促進した。一方、経年劣化による改修が必要な部分がある。また、防災については、個々人の意識向上も含め、啓もう活動にさらなる改善の余地がある。	
改善策	学生の多様な学び方を促進するため、学生専用のインターネット回線など、主にICT環境の一層の促進を図っていききたい。防災をはじめとする安全環境について、経年劣化による修繕を要する箇所については段階的に対応し、安全や災害に対する啓蒙活動も継続して行う。	

## (7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	広報活動のさらなる改善、および、教務との緊密な連携により、入学者の減少は最小限で抑えられた。一方、福祉業界で働くメリット等を広げていく啓もう活動は、まだまだ求められると思われる。職域の魅力発信と、本校で学ぶメリットの「見える化」と「伝え方の工夫」が引き続き必要である。	
改善策	次年度4月に開講する歯科衛生士学科含め、健康・福祉に係る総合的な学びの場であること、高卒者・社会人と幅広く本校で学んでいること等の強みを、競合との差別化として一層強く打ち出していく。また、分野の裾野を広げることを目的に、小中学生や保護者向けの仕事理解の場も継続して実施していく。	

## (8) 財務

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	—	
改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。	

#### (9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	法令等適切に遵守し、運営を行っている。個人情報保護については継続して教職員の意識向上を怠りなく徹底していく。	
改善策	第三者評価の実施に向け、継続して仕組み作りをグループ全体で構築していく。	

#### (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	本校の強みである、地域貢献、ボランティアは、継続して盛んに行っている。一方で、ここ数年継続して行ってきた被災地活動については、被災地における支援ニーズの大きな変化に対応できていると言いつても生じてきている。各種事業委託については、スポーツ健康学科による文科省事業、こども未来学科による離職者訓練等、継続受託している。	
改善策	被災地はもとより、本校教育内容に準じた地域社会における多様な生活ニーズへの取り組みにシフトしながら、委託事業も含め取り組みを行なっていく。	

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校関係者評価委員会、及び、教育課程編成委員会における提言を教育活動の改善につなげる仕組みは、相変わらず教育の質の向上につながってきている。また、学生授業評価、ルーブリック評価を継続して行い、学生の状況をよりの確に把握し、満足度の高い教育活動が継続できている。カリキュラムポリシーの作成により、非常勤講師も含めた目指すべき教務の目標が明確化した。ICTを用いた教育活動についても新たに始動させた。

学生募集に関しては、福祉分野の底上げ活動を取り入れながら行ってきた成果が、引き続き見られる年となった。地域貢献活動は、回数・内容ともに変わらず充実している。一方、地域に貢献できる機関として成長するため、地域や関連団体との連携を具体的に提示しながら強化していく必要がある。より効率的な事務処理システムの構築、経年劣化による施設の改修等は順次進めていくという課題への対応は、継続して必要である。



令和元年度

盛岡医療福祉専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

## 令和元年度 盛岡医療福祉専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

開催日：令和2年9月10日（木）15：30～17：00 於 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

### 1. 出席者

委員長	社会福祉法人 潤沢会	理事長	高橋 典成
副委員長	株式会社システムエイド	常務取締役	中館 勝寿
外部委員	社会福祉法人堤福祉会 ゆーらっぷ	施設長	北田 奈穂美
外部委員	社会福祉法人盛岡ひまわり会 盛南ひまわり保育園	園長	高橋 敦子
外部委員	医療法人楽山会 はまゆり在宅介護福祉センター	卒業生	鳩岡 貴士
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	副校長	菊池 裕生
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	通信教育部部長	高橋 正之
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	統括主任	佐々木 純子
書記	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	業務部	菊池 歩奈

### 2. 委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 現況報告
- (4) 令和元年度自己点検・評価報告
- (5) 討議・意見交換
- (6) 閉会

### 3. 討議・意見交換について

昨年度の就職実績、今年度の入学者状況（昼間部・通信教育部）の報告を行う。その後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果について、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善策等について報告し、それに対し外部委員の皆様からの質疑応答、意見交換を行った。

#### (1) 教育理念・目標について

『学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか』の項目について、無償化審査等に伴うAP（アドミッションポリシー）、DP（ディプロマポリシー）、CP（カリキュラムポリシー）についてHP上で公開している事を挙げ、

一昨年度「ほぼ適切」から「適切」に評価を上げており、元年度も変動なしとした。また、今後の課題、改善策について、「専門職の役割理解」は教職員が「理解させる側」として自己の研鑽することを含め、学生が倫理観と共に「役割を理解」することと確認。委員より了承をいただいた。

#### (2) 学校運営について

昨年度と評価結果は全て変わらず、依然として存在する課題について取り組んでいる現状を報告。教育カリキュラムの可視化についてはHPにて公開済みであることを報告。グループ全体での情報システムの効率化については継続して改善していくことを報告し、委員より了承をいただいた。

#### (3) 教育活動について

評価結果に変更はなく、より質の高い教育活動を継続していくためMIPs（多職種連携教育）等を学校全体で行っていることについて実績を報告。多職種連携授業についての大きな概要をご説明し、外部連携を含めた活動状況を報告した。歯科衛生士学科も加わり、今後も継続して必要な取り組みを行っていくことを確認し、委員から評価を頂いた。

#### (4) 学修成果について

『退学率の低減が図られているか』の項目について評価を前年度より下げたことを報告。経済的な支援については今後の「学費無償化」の対象校となる見通しもあり、経済的困窮が退学へ繋がる要因となることは少なくなるのではないかとの見通しであることを報告。早期に退学防止を図る取り組みとして、現在スクールカウンセラーを配置して一定の効果を上げていることを報告。これに関し、外部委員の方より、話を聞いてもらう場所がある、ということが社会人になっても大事だと共感して頂いた。

#### (5) 学生支援について

『保護者と適切に連携しているか』について、保護者ガイダンスや学校説明会にて教育理念をお伝えする場を設けていることを報告。

『卒業生への支援体制はあるか』の項目について、通信コースにおける卒後教育への一定の貢献・効果について継続して効果的であるとの現状を報告し、委員より評価頂いた。

#### (6) 教育環境について

改修が必要である場合は、随時改修している現状と、必要箇所については対応済であることを報告し、委員より了承頂いた。

#### (7) 学生の受け入れ募集について

入学者については横ばいであった状況を報告。小中学生へ向けた職業理解の場も提供している状況を説明し、委員より評価を頂いた。

(8) 財務について

財務に関する自己点検・評価の結果に関して特に問題は無く、外部委員より了承をいただいた。

(9) 法令遵守について

法令遵守に関しては特になく、外部委員より了承をいただいた。

(10) 社会貢献・地域貢献について

被災地との関りは継続して続けている中で、被災地のニーズが変化している事を感じる機会が増えた。引き続きニーズを汲んだ適切な社会貢献・地域貢献をしている点を報告し、委員より評価頂いた。

3. まとめ・その他

外部委員の方より多職種連携について昨年度と同様に、重要であること、MIPsの取り組みが社会に出てからも役に立つと思うので、ぜひ継続してほしいとお話を頂く。

また、2月頃よりコロナウィルスの影響があり、今後のツールとしてタブレットの活用方法や、リモートで「コミュニケーション」を図ることを模索しなければならない状況が各分野に広がりつつあることを委員の方と共通理解した。

本校の取り組み全体に関し、おおむね高く評価頂き、閉会となった。

以上